

単元について

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説国語科第3学年及び第4学年、「A話すこと・聞くこと」の指導事項(1)「オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。」の内容を受けて設定したものである。

本単元では、学習指導要領の「A話すこと・聞くこと」の言語活動例(2)「イ 学級全体で話し合って考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。」を基に、総合的な学習の時間の「あなたにありがとう～自分の成長を振り返ろう～」や特別活動の「きまりについて考えよう」の学習と関連させ、1/2成人式で発表する内容について学級全体で話し合い、考えをまとめる言語活動を位置付ける。話し合い、考えをまとめることを通して、目的に応じて考えの共通点や相違点を考えたり、司会や提案などの役割を果たしたりしながら進行に沿って話し合う力を付けることをねらいとしている。また、学級で話し合って決定したことを「1/2成人式」で発表し、保護者に感謝の気持ちを伝えるという目的をもたせることで、互いの考えを伝え合って意見をまとめることの良さを感じさせることができると考えられる。

○ 児童観

本学級の児童は、これまでに、司会の進行に沿ってグループで話し合い、考えをまとめる学習を行ってきた。事前のアンケートでは、「話し合いが好き」と答えた児童は86%で、その理由として、「意見交換をすると相手の考えていることが分かる」を挙げている。一方、「話し合いが嫌い」と答えた児童は14%で、「意見を上手く話せず、言いたいことを伝えられない」「自分が話すことだけで精一杯」などの理由を挙げている。アンケートの結果から、児童は、自分の考えは発言できるが、友達の発言と比べたり、関連付けたりするなど整理しながら発言したり聞いたりすることに難しさを感じていることがうかがえる。

普段のペアトーク等の様子でも、自分の考えを伝え合うのみに終わっていたり、友達の考えに賛否を述べるのみに終わっていたりして、相手の考えを尊重し整理しながら意見を述べるところまで至っていない。また、これまでの実際の話し合いの場面においては、発言をする児童が固定化されていたり、多様な考えが出過ぎたりするため、多数決にたよる傾向にある。

○ 指導観

指導に当たっては、単元を通して話し合いを行う時間を意図的に設定するとともに、単元と並行して、他教科の時間においてもペアトークやグループトークなどで、自分の意見と友達の意見の共通点や相違点を考えながら話したり聞いたりする活動を多く取り入れる。ペアトークやグループトークを行うことで、話し合うことの楽しさや話し合いで物事を決める楽しさを味わわせ、もっとたくさんの人と話し合い、より良い意見にまとめたいという意欲を高め学習に取り組めるようにしたい。

課題の設定では、特別活動の時間に学級会で「雨の日の休憩時間を安全で楽しく過ごすためのきまりについて考えよう」の議題で話し合いを行った様子を視聴させ振り返らせることで、話し合う力に課題があることに気付かせ、話し合う力をもっと付けたいという意欲をもたせたい。そして、話し合う力を実際に活かす場として、総合的な学習の時間に行う「1/2成人式で発表する内容について学級で話し合いまとめる」という課題を設定する。

情報の収集、整理・分析の過程では、まず、教材文から、話し合い活動に必要な、司会者・提案者・発言者それぞれの役割について理解させ、話し合い虎の巻を作る。次に、よりよい話し合いのためには、発言者の役割だけでなく司会者の役割が重要であることに気付かせる。そのために、まず、7人グループで話し合い活動を行い、発言者の発言の仕方について考えさせる。進行に沿った話し合いの

仕方、発言の仕方等、視点を明確にして話し合いの様子を互いに観察し、グループの話し合いの様子を振り返らせ交流することで、良い点・改善点について考えさせる。そして、話し合いをまとめるためには、意見の共通点や相違点を整理したり話し合いの目的と関連付けたりする司会者の役割が重要であることに気付かせ、教材文をもとに、提案者や発言者の発言を整理したり、促したりすることを再確認する。話し合いを行った後には振り返りの時間を確保し、自己評価したり相互評価したりして互いにアドバイスし合い、進行に沿って話し合う力を付けていく。また、議題ごとに役割を変えて話し合うことで、それぞれの立場で話し合いを経験できる機会を作る。

まとめ・創造・表現の過程では、これまでに少人数で話し合い付けてきた力を活かし、「1/2成人式で、保護者に感謝の気持ちを表すために、どんなことを発表するとよいか」の議題について学級全体で話し合いを行う。話し合いで決まったことを、総合的な学習の時間の「あなたにありがとう～自分の成長を振り返ろう～」での1/2成人式で発表させ、互いの考えを伝え合うことの良さを感じさせる。

単元の目標及び内容について

- 話し合いを進行していくときの役割を果たしながら、積極的に話し合いに参加しようとする。
【関心・意欲・態度】
- 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うことができる。
【話すこと・聞くこと オ】
- 意見を伝えたり、共有したりするために、適切な言葉で自分の考えを表すことが大切であることに気付くことができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ（ア）】

単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
【言語活動】 学級全体で話し合い、1/2成人式で発表する内容について考えをまとめる。		
自分の役割を意識して、話し合いをよりよく進めることに意欲的に取り組もうとしている。	話し合いの目的や進め方をとらえ、互いの考えの共通点や相違点を考えて、司会者や提案者、発言者などの役割を意識して議題に沿って話し合っている。	意見を伝えたり、共有したりするために、適切な言葉で自分の考えを表すことが大切であることに気付いている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・1/2成人式の目的を考え、それぞれの役割を理解して意欲的に話し合いに参加しようとしている。	・1/2成人式の目的を考え、話し合いに参加しようとしている。
【思考力】	・互いの考えの共通点や相違点を整理しながら、筋道を立てて意見を述べ合ったり意見をまとめたりしている。 ・話し合いにおける司会者等の役割について、視点に沿って観察し、良い点や改善点について考えたり、アドバイスしたりしている。	・互いの考えの共通点や相違点を整理しながら、意見を述べ合ったり意見をまとめたりしている。 ・話し合いにおける司会者等の役割について、視点に沿って観察し、良い点や改善点を考えている。
【自己理解】	・話し合いを通して、互いの考えを伝え合うことよきさに気づき、積極的に日々の生活に生かそうとしている。	・話し合いを通して、互いの考えを伝え合うことよきさに気付いている。

指導と評価の計画

全8時間

次	時	学習内容	評価				
			関	話・聞	言	評価規準	評価方法
		総合的な学習の時間 「あなたにありがとう～自分の成長を振り返ろう～」 ○総合的な学習の時間において、自分の成長を振り返る活動を行う。 ・1/2成人式に向けて計画を立てる。					
		特別活動 「きまりについて考えよう」 ○学級会で、雨の日の休憩時間について話し合いを行う。 ・「雨の日の休憩時間を安全で楽しく過ごすためのきまりについて考えよう」の議題で、話し合い活動を行う。					
一	1	課題の設定（1） ○話し合い活動を振り返り、学習の見直しをもち学習計画を立てる。 ・「雨の日の休憩時間を安全で楽しく過ごすためのきまりについて考えよう」の議題で行った話し合い活動について振り返り、もっと話し合いをする力を付けたいという意欲をもつ。 ・1/2成人式で発表する内容を話し合い決定する、というゴールの見直しをもち、単元で付けたい力について考え、学習計画を立てる。	○			・これまでの話し合いを振り返り、話し合いをよりよく進めることに意欲的に取り組もうとしている。	発言 行動観察
	2	情報の収集（1） ○話し合いのモデル文（教材文）をもとに、話し合いの進め方を理解する。 ・「司会者」「提案者」「発言者」それぞれの役割について考える。		○		・話し合いを5つの段階で進めることを知り、司会者、提案者、発言者の役割を考えている。	発言 行動観察
二	3	情報の収集・整理・分析（3） ○グループで話し合いをし、「発言者」の発言の仕方について考える。 ・話し合いグループ・観察グループでペアグループを作り、「昼休憩、体育館でする遊びについて考えよう」の議題について、話し合う。 ・「進行に沿って話し合う」、「互いの考えの共通点や相違点を明確にしながら話し合う」、「議題に沿って積極的に意見を出す」、の視点で「発言者」が話し合っているか観察し、互いの良い点や改善点を考える。 ・「司会者」の役割の大切さに気付く。			○	・意見を伝えたり、共有したりするために、適切な言葉で自分の考えを表そうとしている。	発言 行動観察 ワークシート

他教科の時間において、ペアトーク、グループトークを行う

次	時	学習内容	評 価				
			関	話・聞	言	評価規準	評価方法
一	4	<p>○話し合いのモデル文（教材文）をもとに、「司会者」の役割について再確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい話し合いのためには、「司会者」の役割が重要であることに気付かせる。 <p style="font-size: small; text-align: right;">他教科の時間において、ペアトーク・グループトークを行う</p>		○		<ul style="list-style-type: none"> ・よりよく話し合いを進めるためには、司会者の役割が重要であることに気付き、司会の仕方、進行の仕方について考えている。 	ノート 行動観察
	5	<p>○「司会者」「発言者」それぞれの役割を明らかにしてグループで話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学級みんながもっと仲良くなれるみんな遊びについて考えよう」の議題について、話し合う。 ・「司会者」「発言者」がそれぞれの役割を果たすことができているか、協力して、話し合いをまとめることができたか評価し合う。 <p style="text-align: right;">【本時】</p>		○		<ul style="list-style-type: none"> ・互いの考えの共通点や相違点を考えたり、自分の役割を果たしたりしながら進行に沿って話し合っている。 	発言 行動観察 ワークシート
	6 ・ 7	<p>まとめ・創造・表現（2）</p> <p>○学級全体で話し合いを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1／2成人式で、保護者に感謝の気持ちを表すために、どんなことを発表するとよいか」の議題について、話し合う。 ・これまでのグループでの話し合いを生かし、進行の仕方、発言の仕方を意識して学級全体で話し合う。 ・話し合いの中で「司会者」「提案者」「発言者」がそれぞれの役割を果たすことができたか、話し合いチェックシートをもとに振り返る。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・互いの考えの共通点や相違点を考えたり、自分の役割を果たしたりしながら進行に沿って話し合っている。 	発言 行動観察 ワークシート
		<p>総合的な学習の時間「あなたにありがとう～自分の成長を振り返ろう～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級で話し合っただけ決まったことを、「1／2成人式」で発表し、保護者に感謝の気持ちを伝える。 					
三	8	<p>振り返り（1）</p> <p>学びのモニタリング</p> <p>○自らの学びや学び方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で映像や話し合いをもとに自らの学びを振り返る。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをもとに自らの学びを振り返ろうとしている。 	ワークシート

本時の学習

(1) 本時の目標

- 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うことができる。

(2) 本時の評価規準

- 互いの考えの共通点や相違点を考えたり、自分の役割を果たしたりしながら進行に沿って話し合っている。 **【話す・聞く能力】**

(3) 本時の学習展開（5時間目／全8時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 本時の学習課題を確認する。	◇これまでの学習を振り返り、話し合いをする際に気を付けてきたことを確認させる。 ◆話し合い虎の巻を見返させ、話し合いをする際のポイントを一緒に確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> めあて 友達と自分の考えを比べながら、よりよい話し合いをしよう。 </div>		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 本時のゴールの見通し A：互いの考えの共通点や相違点を整理しながら、筋道を立てて意見を述べ合ったり意見をまとめたりしている。 B：互いの考えの共通点や相違点を整理しながら、意見を述べ合ったり意見をまとめたりしている。 </div>		
3 グループで話し合う。 ○グループで話し合っ、意見をまとめましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 議題 学級のみんながもっと仲良くなれるみんな遊びをする方法を考えよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/>思考の場の工夫 比較する 自分の考えと友達の考えとの共通点や相違点を考え、よりよい意見にまとめるよう話し合う。 </div> 4 全体で交流する。 ○話し合いを振り返って、どんなことに気付きましたか。	◇自分の考えをもたせるため、議題のみ前時に伝えておく ◇発言の機会を増やしたり発言しやすい雰囲気にしたため、7人グループを作って話し合わせる。 ◆発言しにくい児童にも発言を促すように司会者の役割をする児童に事前に指導しておく。 ◆発言しにくい児童においては、友達の考えの中で、誰の考えに賛成か、発言するようにさせる。 ◇話し合い終了後、グループでワークシートをもとに話し合いを振り返らせる。 ◇グループで話し合っ、決めた内容も互いに報告させ、翌日の朝の会で決定することを伝えておく。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p><司会者></p> <p>良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題から外れそうになった時に戻してくれていた。 ・整理しながら進めていた。 <p>困った点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いがどの段階に進んでいるのかわからなくなった。 ・反対の意見をいつ言えばいいかわからなかった。 <p><発言者></p> <p>良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理しながら意見を言っていた。 ・反対の意見の人の理由もちゃんと聞いていた。 ・反対の意見も受け入れながら話し合えた。 <p>困った点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見がたくさん出過ぎてよく分からなくなった。 ・反対の意見は言うてはいけない気がした。 <p>○どんな風に改善するとよいですか。</p> <p><司会者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを区切りながら進めると、話し合いのどの段階なのかをもっとよく分かる。 ・他に意見はないか、尋ねるとよい。 <p><発言者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・似ている意見は合体させて1つにするとよい。 ・自分の意見を進んで発言するとよい。 <p>6 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇良かった点だけでなく、困り感も出させるようにする。</p> <p>◆考えがもちにくい児童には、次の話し合いのときに、誰のどんなところを真似してみたいかという視点で、考えさせる。</p> <p>◇上手くいかなかったところは、改善策を考えさせる。</p> <p>◇話し合いにおいて、自分の役割を果たすことができたか、また、交流を通して分かったことや思ったことをまとめさせるようにする。</p>	<p>◎互いの考えの共通点や相違点を考えたり、自分の役割を果たしたりしながら進行に沿って話し合っている。〔話す・聞く能力〕(発言・行動観察・ワークシート)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<司会者> <p>司会者虎の巻を使って、話し合いを進行することができた。話し合いをよりよい考えにまとめるためには、一人一人の発言をよく聞いて、話し合いを整理しながら進めることが大切だと分かった。</p> ・<発言者> <p>自分の考えと友達のを比べたり、よりよい考えは何か考えたりしながら話し合うことができた。グループの意見をより良い意見にまとめるためには、友達のをもしっかり聞くことが大切だと分かった。</p> 		
	<p>◇次時は、本時まで付けた力を使得って、学級全体で話し合いを行うことを確認する。</p>	

(4) 板書計画

話し合い名人になろう！話し合って考えをまとめよう！
「クラスで話し合おう」

めあて
友達と自分の考えを比べながら、よりよい話し合いをしよう。

話し合いのポイント

司会者

- ：進行表にそって進行
- 議題から外れたら議題に戻す
- 意見を整理する

発言者

- ：議題に沿って。
- 進んで発言
- 意見を比べながら
- よいと思ったら受け入れる

議題
学級のみんなが、もつと仲良くなれる「みんな遊び」について考えよう。

発言者	司会者	良かったところ
<ul style="list-style-type: none"> ・整理しながら、意見を言っていた。 ・反対の意見の理由もちゃんと聞いていた。 ・反対の意見も受け入れながら話し合えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議題から外れそうになった時に、戻してくれた。 ・整理しながら、進めていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良かったところ
<ul style="list-style-type: none"> ・意見がたくさん出過ぎて、よく分からなくなりました。 ・反対の意見は言っではいけない気がしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いがどの段階に進んでいるのかわからなくなりました。 ・反対の意見をいつ言えればいいかわからなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困ったところ
<ul style="list-style-type: none"> ↓ ・自分の意見を進んで発言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ↓ ・反対の意見はないか、たずねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ↓ ・話し合いを区切りながら進める。 改善案

ふり返り

話し合い虎の巻を使って、進行することができた。話し合いをまとめるためには、みんなの発言をよく聞いて似ている意見は合体系せるとよいことが分かった。

<参考> 「学びのモニタリング」

学びのモニタリング

話し合い名人になろう！話し合って考えをまとめよう！
「クラスで話し合おう」

四年 組 ()

5 とじてよくできた 4 できた 3 できた 2 できなかった 1 できなかった

主体性・・・ **チャレンジする力**

1 / 2 成人式の目的を考え、話し合いに参加することができた。

思考力・・・ **深く考える力**

互いの考えの同じところや違うところを整理しながら、発言したりまとめたりすることができた。

それぞれの役割を果たしながら話し合いをしているか観察して、互いの良い点を伝えたりアドバイスをしたりすることができた。

自己理解・・・ **自分のよさに気づく力**

話し合い活動を通して、互いの考えを伝え合うことによさに気づくことができた。

学習をふり返って

成長したこと

課題だと思ふことや次の目標

